衛　　生　　学

1　担当教員名

【研究指導教授】　教授　　鈴　木　孝　太
【科目担当者】

2　教育目標

（1）　ねらい

社会における医学・医療の位置づけについて理解するとともに，集団における健康状態を客観的に記述し，評価するために，疫学・生物統計学の基本を身につけることを目標とする。さらに，その結果として抽出される健康問題に対して，個人レベル，また集団レベルでの健康増進（ヘルスプロモーション），疾病予防を目的に，現実的な対策およびその対策の評価を計画できることを目標とする。

（2）　学修の到達目標

① 国内外におけるさまざまな健康問題を説明できる。
② 集団における健康状態を客観的に記述し，評価できる。
③ 記述統計，記述疫学で用いられているさまざまな指標を説明できる。
④ 集団における健康問題の分析と対策を計画できる。
⑤ 衛生行政，産業保健，国際保健について説明できる。

3　授業内容

【講　義】	社会医学全般について講義するとともに，地域における医学・医療の位置づけ，疫学研究の中でも，周産期，母子保健における研究，環境・産業保健，ヘルスプロモーションの理論などについて，最近の研究内容などをもとに講義を実施する。
【演　習】	1．さまざまな健康問題に関する，特に集団を対象とした疫学論文などを広く抄読し議論する。 2．医学研究のデザインや，統計解析の手法など，研究に必要なスキルを身につける。
【実験研究】	人間集団を対象とした，健康関連データを用いた研究を進める。特に，地域や職域のデータ，臨床のデータなどを用いた共同研究を実施し，国際的に意義があり，それぞれの集団に還元できるような研究を実施する。

4　成績評価の方法・基準

研究を実施するにあたり必要な，疫学，生物統計学の知識を習得しているか。
自らの研究のみならず，関連する他の文献についても適切に評価することができるか。
以上を踏まえて，質の高い論文を執筆できているかについて評価する。

5　教科書・参考図書

それぞれの研究テーマに沿って指示する。

6　準備学習（予習，復習等）及び必要な時間

事前に関連するテキスト，論文などに目を通しておく。（1週間に 7 時間程度の予習・復習が望ましい。）

7　課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

・毎回の発表活動を通して，専門的職業人に必要とされるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を修得し，研究における指導的な役割を担うことができる。
・健康増進と疾病予防を目的とした，人の集団を対象とした論文作成を通して，社会医学分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力，特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。
・本講義の学修を通して，社会の諸問題を理解し，社会医学分野の研究に精通することで，国際的視野に立った研究を遂行できる。

8　課題（試験・レポート等）に対するフィードバック方法

・レポートは，評価後返却されるが，内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。
・講義，実習中に疑問点の解説，レポート内容の評価等フィードバックを行う。
・レポートの内容について，個別に指導する。

9　履修上の留意点

地域や職域などでの調査，研究が含まれるため，現状に即して，授業時間および研究指導計画の変更が行われることがある。

10　オフィスアワー

職　名	氏　名	曜日	時 間 帯	場　　所	連絡先
教授	鈴 木 孝 太	水	17:00～18:00	研究棟 369 号室	内線 12369